

NEWS RELEASE

ひろさき芸術舞踊実行委員会

TEL : 0172-88-6499

担当者：岩渕・秋元

2021 年 11 月 17 日

弘前から世界に発信するダンス映像が再生回数 50 万回を突破！「Connect + Dance in Hirosaki Project」

パリ五輪の候補選手も出演するコンテンツに、海外から多くの注目が集まる。



ひろさき芸術舞踊実行委員会がむつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業の一環として製作した「Connect + Dance in Hirosaki Project」の映像が、10/18 時点で再生回数 50 万回を突破しました。※3 ひろさき芸術舞踊実行委員会については下部に記載
今年の 8 月に配信された本映像には日本のトップダンサーが数多く参加し、SNS や YouTube を通じて国内外から視聴者を集めています。動画は YouTube (FUNKYSTADIUM チャンネ

ル)で視聴することが可能です。

YouTube チャンネル：<https://www.youtube.com/watch?v=oO3TK9M3tIY>

弘前で開催された世界最大級のダンス&パフォーマンスフェスティバル 「SHIROFES.」はスポーツ文化ツーリズムアワード 2021 の大賞を受賞

Connect + Dance in Hirosaki Project とは

Connect + Dance in Hirosaki Project は青森県弘前の文化、観光を盛り上げるべく3年間の計画として実施しているプロジェクトです。弘前はこれまで年々「ダンスの町」として外国人ダンス愛好家の間で注目されています。過去には海外のダンサーも参加するダンスイベントを実施し、弘前城のような歴史的建造物や豊かな自然に触れながら「ダンス好きな人を受け入れる町」というイメージ戦略を行ってきました。2021年は本プロジェクトの初年度にあたり、2年目や3年目には外国人と交流できるイベントや作品づくりを予定しています。

※1 スポーツ文化ツーリズムアワードについてはリリース下部に記載

※2 弘前におけるストリートダンス事業の国内外の参加者、経済効果は下部の参考データを御覧ください。



2024年オリンピック候補選手など、日本が世界に誇るトップダンサーやパフォーマーが出演

Connect + Dance in Hirosaki Project には、弘前市に縁があり世界的にも有名な日本人ダンサーが複数のダンスジャンルから参加しました。2024 年のパリ五輪新競技で世の中の注目を大きく集めるブレイキンからは、日本ブレイキンシーンの先駆者 BBOY TAISUKE と、それぞれ世界王者の経験を持つ BBOY SHIGEKIX、BGIRL AMI の 3 名が参加しています。

また、日本にはブレイキン以外のダンスジャンルでも世界大会での実績を多く積んでおり、HIPHOP や POP、LOCK といったカテゴリでも国内で世界的に有名なダンサーが存在します。本映像で POP ダンスを踊る KEI と GUCCHON は長く日本のトップを走り、海外のダンサーからも尊敬を集める人気のダンサー。HIPHOP パートで参加している KYOKA も同じく世界から注目され、アジアの女性 HIPHOP ダンサーのアイコンになりつつある存在です。

ダンサー以外にも、フリースタイルバスケットボールでの世界一を実績に持つ Bug!? や、日本ダブルダッチシーンのアイコン REGSTYLE が参加しており、映像の撮影と編集はストリートダンスに特化した Filming Crew の FEworks が担当しています。



プロジェクトの発信地「青森」を代表するアーティストが音源を製作

佐藤ぶん太(津軽笛奏者)

プロフィール：青森県での横笛最高峰登山囃子コンテスト最上位クラス6度の優勝を誇る実力者。郷土芸能歴30年以上の経験を活かし全国各地4,500人以上へ横笛の指導を行なう。

郷土芸能の力で“地域コミュニティーを基盤とした地域づくり”を進める津軽笛の会顧問。2011 年には自身の発案・プロデュースで 3,742 名で青森県の夏祭りねぶた祭りの囃子を一斉に吹く「横笛合同演奏者数ギネス世界記録」を達成。2016 年、もっと全国に横笛文化を広めるために日本で唯一の生演奏の「全日本横笛コンクール」を青森県弘前市で始め、全国から参加者が集まる。演奏では海外公演も積極的に行い、ヨーロッパ、東南アジア、中南米、そして 2019 年、NY カーネギーホールにて公演。大きな賞賛を浴びる。伝統とは受け継ぎつつも発展させることを信条に活動している。現在、青森県平川市非常勤講師。

佐藤ぶん太さんからの楽曲についてのメッセージ：

コラボさせていただいた曲は新曲「Northern lights」。

二つの意味があって、ねぶたの合同運行がオーロラのように消えてしまったのと、北国から希望の光を輝かせようとする Nobuo さん（本プロジェクトの主担当社）の情熱に感銘を受けて作りました。



本プロジェクトを実施した背景

当実行委員会では、委員会発足の 2012 年からダンスを軸に多くの事業を行ってきました。2016 年には、国の需要文化財である弘前城を活用した SHIROFS.というダンス&パフォーマンスフェスティバル事業を立ち上げ、全国だけではなく、海外からの参加者を弘前に呼び込むためのコンテンツ作りを行っています。この SHIROFES.を含め、弘前にて年間実施す

るダンス事業には、年々海外からの参加者が増加しています。

当実行委員会主催事業における 2016 年度のダンス事業参加者は、延べ 8850 名、海外からの参加者は 13 名で、ダンス事業によって生まれた経済効果は、9,600 万円であった。年々県外・海外からの参加者は増え、2019 年には参加者総数が延べ 18,570 名、海外からの参加者も 147 名まで増加し、事業に関連する経済効果は 2 億 9400 万円に達しました。

2020 年は、新型コロナウイルスの影響でこれまで通りのイベント開催が難しく、全ての事業をオンラインに切り替え実施しました。その結果、SNS や YouTube を通して海外からも多くのダンス愛好家が参加し、4 月から 10 月までの期間で実施をしたオンラインでのダンス事業の参加者は 137,500 名となり、海外参加者も 3,800 人まで増加しました。

このことが、「Connect + Dance in Hirosaki Project」の映像製作も実施する背景となっており、SNS や YouTube を通じて、更に多くのダンス愛好家に向けて弘前を発信し、インバウンドの増加、地域観光経済の発展につながるとともに更なるダンス文化発展に寄与すると考えております。

※1 スポーツ文化ツーリズムアワードとは

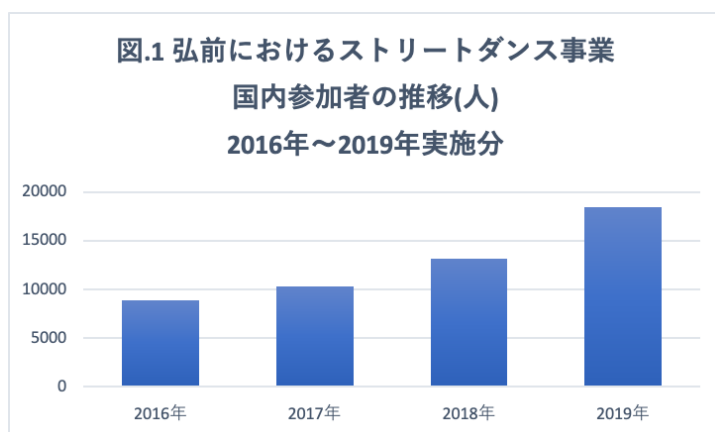
スポーツ庁、文化庁及び観光庁は、スポーツや文化芸術資源の融合により、新たに生まれる地域の魅力を国内外に発信し、訪日外国人旅行者の増加や国内観光の活性化を図るための政策連携の取組として「スポーツ文化ツーリズム」を推進しています。

先進的な取組や今後スポーツ文化ツーリズムの実現につながる取組へ賞をおくる為、2016 年に「スポーツ文化ツーリズムアワード」を設置しました。

2016 年から史跡弘前城などを舞台に開催している SHIROFES が、2021 年 10 月 29 日、スポーツ庁、文化庁、観光庁実施の「スポーツ文化ツーリズムアワード 2021」において、東北では初の最高賞にあたる「スポーツ文化ツーリズム賞」を受賞しました。

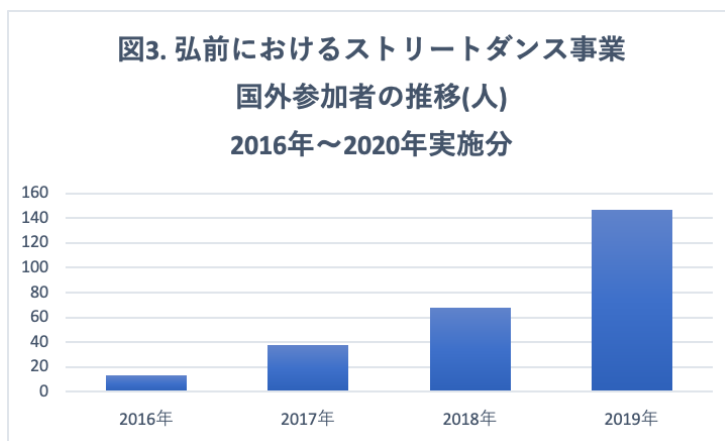
※2 参考データの添付

・ストリートダンス事業の参加者の動向について(国内)(ひろさき芸術舞踊実行委員会調べ)
国内参加者

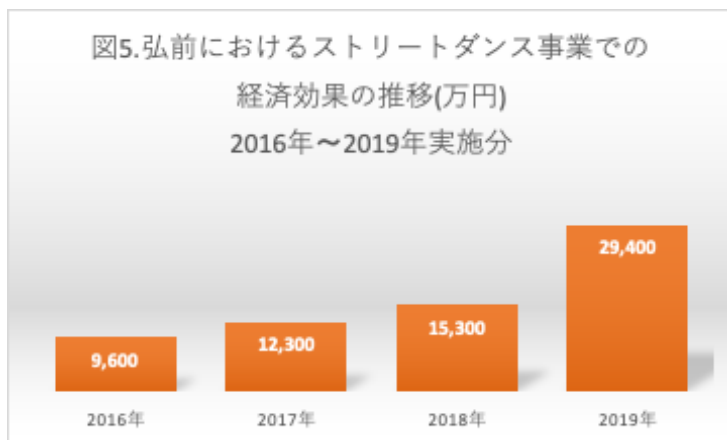




・ストリートダンス事業の参加者の動向について(国外)(ひろさき芸術舞踊実行委員会調べ)
 国外参加者



・経済効果の推移



※3 ひろさき芸術舞踊実行委員会とは

芸術舞踊に関する活動を青森に根付かせ、多くの人々に芸術舞踊に親しみ、理解を深めてもらうため、委員長である岩渕伸雄が2012（平成24）年に発足した市民団体。

子どもたちに発表の場を作るといった思いから始めた舞台公演「DREAMER」や「ダンスフェスティバル」「DANCE 交流文化祭」など弘前を中心に势力的に活動しています。

本件に関するお問い合わせ先

ひろさき芸術舞踊実行委員会

TEL : 0172-88-6499

Mail : nobuo@sfs.limited

担当者：岩渕・秋元